

千草会

題字 原あやめ

目次

- 学院長挨拶 1頁
- 在校生 2頁
- 学校案内 3頁
- 学院ニュース 4頁
- 研修旅行 5頁
- 卒業生便り 6頁
- お知らせ／会計報告／就職 7頁
- 千草会からのお知らせ 8頁



23

年号

学院長挨拶



学院長
吉野 眞二

千草会の皆様こんにちは。学院長の吉野です。山脇を大きく変革する為に二十一年度から準備を始め、今年二十三年度から新たな教育体制をスタートし、山脇は大きく変わり始めました。デザイン専門教育機関として、正しく認知される事を目標に様々な変革を進めて行きます。昨年度は学校内に無線LAN設備を完備し、校内ではどこでもインターネットが接続出来る様になりました。

今年には在校生、新入生全員にMacBook Proをソフト込みで貸与し、学生はMacBook Proを毎日持参して登校し、パソコン教室では大型モニターに接続して制作活動し、普通教室ではレポート作成に利用したり、調べものをしたり、また就職活動にも活用したりしております。MacBook Proが自宅に持ち帰れるので、24時間いつでも学べ、そして課題制作にも取り組める様になりました。

教育内容も大幅に充実しました。授業時間を増やし、修業年限を三年制に変更し、カリキュラムも今まで以上に連携を持たせ、新しい時代に応えるべくより効率的・実践的な教育内容になりました。教育内容は美大四年制の専門課程に匹敵します。

就職時に必要とされるコミュニケーション力やビジネスマナー、PCスキル等の社会人基礎力も就職講座を新たに用意し、学べる様準備しました。

このようにカリキュラムと制作環境の両輪を充実する事と就職支援をきめ細かに行う事によって、プロへの入り口に立つ事が今まで以上に近道出来るようになってきました。

本学院で学んで是非プロのデザイナーになって欲しいと願っております。

中庭より



在校生より



ジュエリーデザイン科 2年

小野 早由里

1年生の頃とは違い、個性を活かした作品を制作できるようになり、デザインすることの難しさを実感しています。使用する技法を活かし、ジュエリーとしての美しさや着用品の高いデザインを出来るようにするために、日頃からジュエリーだけでなく、広告や建築など様々な物のデザインを見るようにしています。

将来は、自分で制作したジュエリーを小さなお店やネット上で販売してみたいです。そのためには、デザインや制作の仕事だけではなく、販売や企画に仕事などの仕事も経験しなければならぬと思うので、これからも沢山の人と出会い、多くのことを学んでいきたいです。



ビジュアルデザイン科 2年

岡本 千明

ビジュアルデザイン科は、全員とても仲が良く毎日楽しく、かつ真剣に課題に取り組んでいます。

先生方との距離がとても濃くて貴重な経験になります。自分の科の学生だけでなく、他の科の学生たちとも交流する場が多いので、山脇は技術面だけでなく人間的にもとても成長できる場です。入学した頃に比べて、この一年余りで全員が格段にレベルアップしているのを感じます。

ビジュアルデザイン科では、様々な分野について広く学ぶことが出来ます。私は、元々グラフィックが好きだったので、その分野の仕事に就くのかな? と考えていましたが、Webの授業で色々学んでいくうちに画面の中の世界にも引き付けられてきました。画面の中だと、グラフィックでは有り得ない動きやコミカルな表現が沢山できます。自己表現のアートと違って、常に人を意識して考えながらつくっていくデザインはとても奥深く楽しいです。

残り一年で、一番自分に合ったデザインの道を見つけ出したいです。



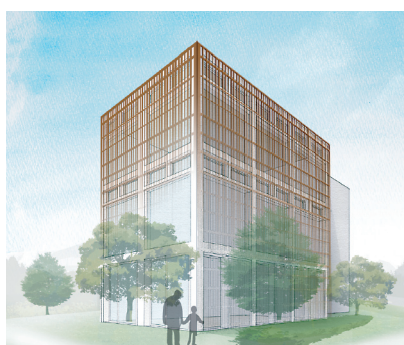
インテリアデザイン科 2年

松本 順

2年生になって、住宅デザインや店舗デザイン、照明やディスプレイなど実践的な授業が増えてきました。中でも、インテリアデザインBの授業では、自分の家ではなく、友達の家を計画しています。与件シートに自分の要望を書き交換し、友達の要望を読み取ってプランを立てます。実際の仕事と同様に進行することは初めてだし、他の人が住む家を計画することの難しさを毎日感じています。最終的に、その人を満足させられるプランを立てようと苦心しています。

クライアントの要望を聞き出す能力・コミュニケーション能力についても、今まで先生に言われてきた事の意味や重要さを勉強しています。

自分は、将来住宅デザインや店舗のデザインをやりたいと思っています。この授業ではその全てについて教えてもらえるので、楽しんでいますが、仕事としての難しさについても学んでいます。



＜ 平成23年度より「3年制のデザイン専門学校」に変わりました ＞

デザイナー・クリエイターを目指す方に、 伝統と改新を備えた母校をご紹介ください。

プロのデザイナーを育てる為に、効率的・実践的なデザイン教育を充実させています

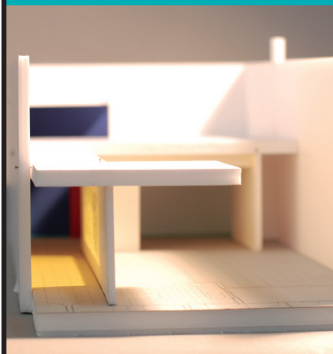
1. 3年制の採用と年間1,050時間の授業で、4年制美術大学専門課程に匹敵するカリキュラムを編成
2. 少人数制による指導：デザインの現場に近い指導環境
3. 恵まれた学習環境：Mac Book Proで、いつでも学習・制作でき 一人1台の制作機が設置
4. 就職支援：就職する為のノウハウと、仕事の出来る専門能力・人間力を習得

● ビジュアルデザイン科 40名



従来のグラフィックデザインと新しい潮流である Web デザインの両方を主軸に「仕事に直結する授業」を行っております。
イラストレーション・パッケージ、動画などの派生講座も充実していて、メディアミックス（様々な媒体を組み合わせた広告方法）に幅広く対応出来るスキルが身に付きます。
また発想力・企画力・コミュニケーション能力などを鍛えるカリキュラムも多数有りますので、将来フリーランスとして独立したり、アートディレクターやプロデューサーとして活躍する事も可能です。

● スペースデザイン科 18名



スペースデザイン科ではインテリア、建築のスペースデザインから家具などのプロダクトデザインと、建築法規・設備・構造・施工からデザインビジネス論までプロとして必要なスキルや知識を学びます。
スペースデザインを伝える製図やプレゼンテーション力をしっかりと鍛える講座も十分用意されています。
スペースデザイン科を卒業して就職する仕事は、スペースデザインの分野とプロダクトデザインの分野に別れますが両方を学ぶ事でどちらの分野にも精通したデザイナー、建築士、コーディネーターとして幅広い分野で活躍出来ます。

● ジュエリーデザイン科 15名



ジュエリーデザイン科では基礎技術から本格宝飾造形技術まで一貫したカリキュラムで学びます。
段階を追って多くの制作課題を習得することで、確実に技術とデザイン能力を身に付けることが出来ます。
加工技術の国外転移が進む中、付加価値の高い技術とデザイン力とを身に付け将来は高級な一点物を手作り出来るハイレベルなクリエイターを目指します。

※平成24年度に向けて、学校案内書をご希望の方にはご送付致します。

ホームページ アドレス <http://yamawaki.ac.jp/> 山脇ニュースやブログなど見所も沢山あります。

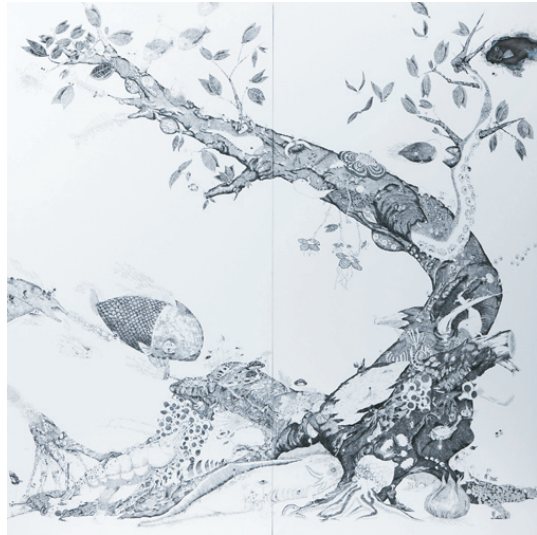
学院ニュース

国際アートトリエンナーレ2010

ビジュアルデザイン科 卒業生 大井 梓さん



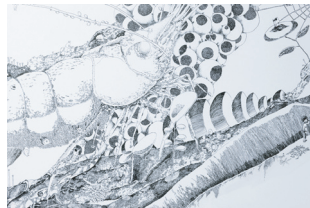
ビジュアルデザイン科卒業生(平成二十二年卒) 大井梓さんが「世紀のダ・ヴィンチを探せ!」をキャッチフレーズに世界規模で作品を公募した国際アートトリエンナーレ(主催大阪芸術大学)で、二十カ国から寄せられた作品868点の中から見事銅賞を受賞致しました。



<全体図>

量2枚分(1600×1600)の大きさの木製パネルにケント紙を貼りキャンパスを作りその上に大井梓ワールドが展開されています。3ヶ月ひたすら付けペンを使って、黒インク一色で描きあげた渾身の作です。

<クローズアップ>

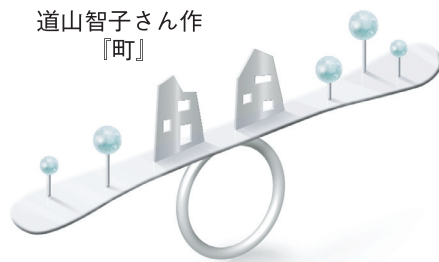


第四回 糸魚川ジュエリー・アクセサリ

デザイン画コンテスト

グランプリ受賞

ジュエリーデザイン科 二年生 道山智子さん
このコンテストは翡翠の国内随一の産出地糸魚川で、「糸魚川翡翠」のブランド化に向けて開催された物でヒスイは中高年向けというイメージを打ち破り、若者達が日々気楽に身に付けるオシャレで可愛いアクセサリやジュエリーのデザイン提案をするという物です。



道山智子さん作
『町』

審査員特別賞

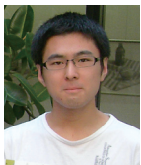
ジュエリーデザイン科 二年生 朱保慶さん



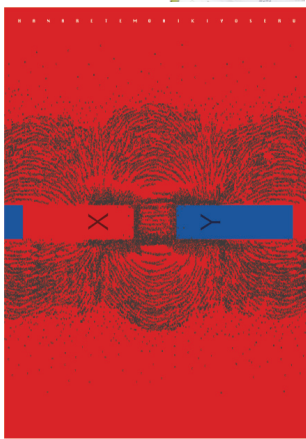
第十一回 デザイングランプリTOHOKU展

期待賞 受賞

デザイングランプリTOHOKUは、東北地区印刷協議会が主催しているコンペです。公開審査で賞が選ばれ374点の中から、ビジュアルデザイン科二年生村田慧太郎さんが期待賞を受賞致しました。



VD科
村田慧太郎さん



村田慧太郎さん作
『HANARETEMO HIKIYOSERU』

トルコ・日本の学生による ふるしきデザインコンテスト

「2010トルコにおける日本年」を記念して「トルコと日本の融合をイメージしたもの」のテーマのもと、ふるしきデザインコンテストが実施されました。

入賞

VD科 木野由香子さん



『市松タイル』

グッドデザイン賞

VD科 小山詩織さん



『Turquoise&GreenTea』

第一回 Kobe ジュエリークラフトコンテスト

入賞

兵庫県「デザイン都市・神戸」から、もの作り発信として神戸貴金属工芸組合が主催し、神戸らしさをジュエリーで制作することがテーマでした。

組合長賞 神戸貴金属工芸

右 下 JD科 道山智子さん

新人賞 神戸市技能職団体

左 上 連合会会長賞

組合長賞 神戸貴金属工芸

左 下 JD科 朱保慶さん



『幻想』

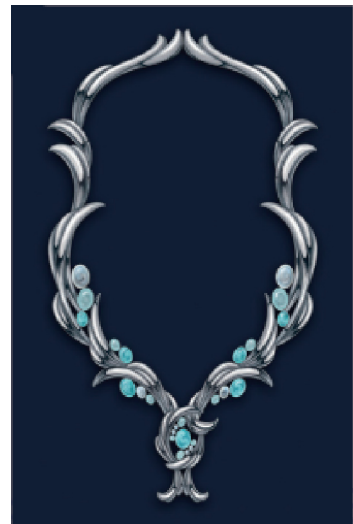


『神戸の輝き』



『旅』

■ 第八回 JTO 主催ジュエリーデザインコンテスト
特別賞
ジュエリーデザイン科 二年生 安部里実さん



『流れる時』
時計の形からイメージを膨らませ、全体のバランスやラインの美しさにこだわり、天然石の美しさが引き立つデザインにしました。

■ 第四回 宇和島 パールデザインコンテスト
入賞
ジュエリーデザイン科 二年生 安部里実さん
入賞
ジュエリーデザイン科 二年生 朱保慶さん



『流転』



『自由』

千草会賞

平成22年度千草会賞を受賞された方々です。
片桐清子会長より、褒賞状と記念品として書籍が授与されました。

ビジュアルデザイン科2年生

村田 慧太郎

『EVERYTHING IS MADE』

インテリアデザイン科2年生

江原 由莉

『CON-CEPTUAL ARCHITECTURE』

ジュエリーデザイン科2年生

小林 翔平

『DECORATIVE IRONWORK of ITALY』

研修旅行

全科合同で群馬・長野方面へ研修旅行に行って来ました。まずは、渋川のグリーン牧場でB・B・Qによる昼食です。食べきれないほどのお肉と野菜で満腹です。午後は近くのハラミュージアムアークで現代美術に触れました。皆真剣な眼差しでメモをとっている姿が印象的でした。その後は、普段経験出来ない藍染め・陶芸や吹きガラスに取り組みました。デザインを学ぶだけあって、趣向を凝らした作品を仕上げました。

さて、今夜の宿、磯部温泉に到着です。大広間に集まったの夕食は、若さもあって大盛り上がりです。食後の全員参加のレクリエーションでは、盛り上がりもピークを向え、グループごとに親交を深め、とても楽しい一時を送る事ができました。2日目は、軽井沢の街中を各科毎に見学です。鬼押し出し園・セゾン美術館・石の教会などなど幾つも訪れました。ホテルマロウド軽井沢でのランチでは、思いがけず仏料理のフルコースが用意されていて皆大喜びでした。その後は、軽井沢タリアセン見学とソーセージ作りに分かれ、盛り沢山の研修も無事終了し、帰路につきました。学校到着までは、例年の如く物音一つ静かな車中となりました。

< 研修旅行の風景 >



初めてのフルコースに大満足／ホテルマロウド軽井沢



藍染めの手拭い、大成功／土と火の里公園



ハートのアーチがお出迎え／ハラミュージアムアーク

卒業生便り



クラフトアート科 卒業

植木 早苗

刺繍、織物、染色、編物、彫金等々。クラフトの世界への扉を大きく開けてくれた山脇「モノづくりはじぶんづくり、人間づくりそのもの」という事を二年という短い時間の中で濃密に学ばせて頂いた気がします。

あらゆるモノゴトに対して上から下から、右から左から、と多角的な視点で見つめ、ヤワラかな思考をもって取り組む事は全ての仕事に共通すること。

現在は本の装丁、フラワーアレンジメントの制作指導、アクセサリーのデザインやカルチャーでのレッスンなど、様々な分野の仕事に携わっていますが、年齢を重ねても更に新たな出会いや発見、つながりをもつことが出来るのは、まさに「モノづくり」のなせる力と実感しています。

想像し創造出来るのは人間だけ。好奇心のアンテナを鈍らせることなく、これからも、「モノづくり」を多いに楽しんで生きていこうと思っております。



ファッションアート科 卒業

谷山 要子

学生時代に、ある講師の先生に「蛭雪之功」という言葉を教えて頂きました。苦労して学問に励むことを意味するそうです。

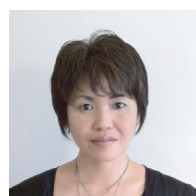
この言葉が最近とても身にしみ解ってきた様な気がします。課題で制作した作品を現在着る事は有りませんが、時々見ると、とても丁寧な制作している事に驚きと感心をしています。課題に追われ、どうにか楽をして作品を提出しようとして手抜きをした事も多々有った様な気がしますが、とてもそんな様子は見られません。

洋裁が好きで入学したのに、課題の提出が大変で挫折もしましたが、乗り越えてやり遂げた事が、その後の自信になっていると思います。

山脇を卒業後は、学院勤務を7年間勤め、その後は服飾関係とは全く業種の違う仕事をし、結婚・出産・育児とだいぶ年月は経ちました。しかし、どんな仕事や立場が変わっても、山脇での経験は、服飾技術はもちろんですが人間力を育ててもらったと思います。蛭雪之功の甲斐あつて：

今は、子供の洋服やバッグなどをとても楽しんで制作しています。この様な物でも手作りのこだわりや丁寧さは山脇式です。

服飾の専門学校を卒業したなんて言った事が無いので周りの友人には「凄いね、上手だね」と驚かれました。しばらくは洋裁の得意なお母さんとして頑張っていこうと思います。



リビングアート科 卒業

大野 千佳

私は、山脇にて6年間教員として働かせて頂きました。人前で話すことが苦手だったのが当時の学生は色々聞きにくい事も有ったかと思えます。少しずつ教員としても慣れていき、6年間で過ぎたところ、自分でもデザインの仕事がしたいという気持ちが強くなり退職し、店舗設計の事務所にお手伝いに行きました。

学校で身につけた人との会話、コミュニケーションの取り方が役に立ち、デザイン事務所です仕事を始めてからとても助かりました。

私が受けていた当時の授業ではパソコンを使っておらず、手描きの図面の時代でした。仕事の内容も手描きの時代からパソコンへ移行し始め、嫌々ながらもパソコンを勉強し始めて、何日かの徹夜の後、使いこなせる様になりました。今でもプランの段階では手描きでプランします。

現在は11年間会社勤めをした後、独立して個人で仕事をしております。主に、物販の店舗の設計をしています。店舗の設計だけでなく、その商品を飾るツールなどの開発もします。

自分でもデザインする仕事がしたいと転職して良かったと思っております。

卒業進級制作展

平成24年2月27日(土)～3月4日(日)
10:00～17:00

1年間の集大成として、1年生は進級作品、2年生は卒業作品を展示致します。

学生達の力のこもった作品を是非ご覧ください。

会場は山脇ギャラリーを使用して10日間開催されます。

専門学校美術展

平成23年11月14日(月)～20日(日)
10:00～17:00

NHKふれあいホールギャラリー

都内、11校の美術／デザイン工芸／染色の専門学校が、1週間単位で展示をします。

山脇では、1・2年生の在学中の作品を展示します。

山脇展

平成23年9月3日(土)・4日(日)
10:00～17:00

『ヒトヒトセツチュウ (造語)』

人と人の掛け合わせで生まれる新しく楽しい事・物を提案。

東日本大震災を経験し、人と人との繋がり的重要性を強く感じた事で、今年のテーマに折衷(幾つかの異なった考え方の良い所を取り合わせて一つにまとめあげる事)を掲げた。

+でなく×意識で、自分達が楽しみ来場者も楽しむ。



学校説明会の様子



オープンキャンパス情報

入学希望者の方を対象に、年間を通じてオープンキャンパスを開催しています。

「体験入学」

将来の職業を理解してもらう為、体験のコース内容は講義に即して設定してあります。全部で14のコースが用意されております。

「学校説明会」

入学に関する全てをご案内します。各科のカリキュラム・職業や入試・学費・奨学金・特待生制度などを説明します。昼間の参加が難しい方にイブニング説明会も有ります。

*ご家族やお知り合いで、デザイナー・クリエイター希望の方がいらっしゃいましたら、是非本校の3学科をご紹介します。

最近では、専門能力を問われる前に、近年の若者に不足していると指摘されるコミュニケーション能力や、多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な、前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力といった、社会人基礎力が問われています。学校でも専門能力だけでなく、基礎的な能力を高めるための授業として「就職講座」を始めました。

学生も、刻々と変化する社会情勢や雇用環境に不安や悩みを抱えています。が、仕事を通して得られる労働の楽しみや社会参加の素晴らしさに希望を抱き、就職活動に取り組んで欲しいと思います。

主な就職先(平成二十三年三月卒業生)

(有)大前秀史デザイン室 (株)ボラール
(有)ケイ・ジェイ・アイ・コーポレーション
(株)長島設計事務所 (株)ペガサス、(株)安藤製作所
ダンギンザギャラリー (株)イデア・プロダクツ
キザワ・ジェイ・シー・エム(株) (株)堀溝商店

追伸 千草会員の皆様からも、在校生の就職に関する情報のご提供をお願い申し上げます。

(学務課就職係 森田 03.3264.4020)
メールアドレス career@yamawaki.ac.jp

千草会 平成22年度 会計報告

入学時に納めて頂きました千草会の終身会費について誌上で会計報告させていただきます。

前年度繰越分 … ￥3,820,391	
収入	千草会費 …… ￥1,050,000
	山脇展 …… ￥25,805
	利息 …… ￥1,107
	計 …… ￥1,076,912
支出	千草会会報 発行費 …… ￥612,614
	千草会賞 …… ￥24,845
	通信費 …… ￥47,135
	委員会運営費 …… ￥194,328
	備品購入費 …… ￥1,322
	その他 …… ￥1,270
	計 …… ￥881,514
	次年度繰越金 …… ￥4,015,789

チャリティのお願い

・今年度の山脇展において、千草会では東日本大震災復興支援チャリティーバザーを催す事に致しました。

つきましては、広く皆さまにハンドメイドの作品（食品は除く）のご提供をお願い申し上げます。

売上金と学院からの支援金とを合わせまして被災地にお送りしたいと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。

皆さまの心のもった作品は、文字通り、温もりあふれる支援となるに違いありません。

又、山脇展でお目にかかれませす事も役員一同楽しみにしております。

山脇展開催日

九月三日（土）・四日（日）

十時～十七時

○送り先

〒102-10074

東京都千代田区九段南四一八一二十一
山脇美術専門学院 千草会バザー係

***必**切 **八月二十五日（木）着**

※送料については、チャリティの意図をご理解いただき、元払いでお願い致します。

◎創立者 山脇敏子先生の作品を

京都服飾文化研究財団へ寄贈。

一昨年の創立八十周年記念の作品集の中から「きもの」「ドレス」など、約四十点を、このたび京都服飾文化研究財団に寄贈させて頂きました。

ご存知の通り、同服飾文化研究財団は一九七九年創立以来、現在、十七世紀から今日までの服飾一万点を文献資料として収蔵されており、国内外の美術館への展示協力もされております。

そして又 収蔵については専門家によって保管環境が整えられ、大切に収蔵されております。

山脇敏子先生の作品をこのような行き届いた美術館に、受け入れて頂き、寄贈出来ました事は学院にとりまして大変喜ばしい事で、安心致しました。

◎「山脇敏子作品集」寄贈について

- ・竹原郷土文化研究会 平成二十二年五月
- ・国立国会図書館 平成二十二年六月
- ・東京本館・関西館
- ・京都服飾文化研究財団 平成二十二年六月
- ・東京国立博物館 平成二十二年六月
- ・財団法人三宅一生活デザイン文化財団 平成二十二年六月
- ・神奈川県立図書館 平成二十二年六月
- ・国立近代美術館 工芸館 平成二十二年七月
- ・市立竹原書院図書館 平成二十二年九月
- ・都立中央図書館 平成二十三年三月

講師・職員移動報告

●退職された先生

- ビジュアルデザイン科 鈴木敢先生
- ジュエリーデザイン科 内堀豪先生
- 退職された職員
- ビジュアルデザイン科 羽成まどか
- ジュエリーデザイン科 北村静香

●就任された先生

- ビジュアルデザイン科 小門孝行先生
- スペースデザイン科 丸山純夫先生
- スペースデザイン科 今川憲英先生
- スペースデザイン科 河浩介先生
- ジュエリーデザイン科 祝迫義郎先生
- 就任された職員
- ビジュアルデザイン科 佐藤未来 助手
- ジュエリーデザイン科 木村晶代 助手

千草会役員 委員

- 千草会会長 片桐清子 洋裁師範科 卒
- 副会長 橋本明子 LA科 卒
- 委員 吉原美和 LA科 卒
- 植木早苗 HC科 卒
- 谷山要子 FA科 卒
- 大野千佳 LA科 卒
- 福沢清子 ID科 助手
- 曾我部理沙 VD科 助手
- 佐藤未来 VD科 助手
- 木村晶代 JD科 助手
- 篠原一郎 専任
- 桐井英明 専任

発行 山脇美術専門学院同窓会

〒102-0074
東京都千代田区九段南4・8・21
電話 03・3264・4020